



夏休み小学生がいろいろ体験!!

この夏、町では小学生を対象に「いろいろ体験くらぶ」を開講しました。これは、子どもたちに多種多様な体験の場を設けることにより、広い視野をもった人材の育成と青少年の健全育成を目的に開催したものです。

家族と一緒に参加する講座もあり、いろいろな体験を通して家族や参加者同士の交流を深めることができました。講座に参加した子どもたちからは、「楽しかった」「また参加したい」などの感想が寄せられ、楽しい夏休みの思い出をつくることができました。



いろいろ体験くらぶ

第1回「親子木工教室」を開催しました

親子木工教室を小野小学校の児童とその保護者を対象として8月3日、多目的研修集会施設で開催しました。

この事業は福島県の森林環境税を活用したもので、福島県産間伐材を利用して、木工作品を製作することで、森林の恵みに触れ、森林の必要性を学習することを目的に開催しました。

小野町建築家具組合の指導のもと、いろいろ使える便利棚を製作しました。

参加した児童からは「クギを打つのがとても楽しかった」「難しかったが作れたのがうれしかった」保護者からは「子どもと物を作ることができてとても楽しい時間になった」などの声が聞かれました。



いろいろ体験くらぶ

第2回「プールでカヌー体験!!」

カヌー体験教室を8月18日にB & G 海洋センタープールで開催しました。

当日は、水辺の事故防止を楽しく学べる「水辺の安全教室」や、ライフジャケットを着用して浮遊体験を行った後に、パドルの使い方などのカヌーの操作に必要なことを学び、実際にプールでカヌーに乗ってみました。初めてカヌーに乗った子どもも多く、最初はなかなか思い通りに進めなかったりしましたが、だんだんとコツをつかんで、水上を進む感覚を楽しんでいました。



いろいろ体験くらぶ

第3回「モッツアレラチーズをつくってみよう！」



いろいろ体験くらぶ第3回「モッツアレラチーズをつくってみよう！」を8月7日、勤労青少年ホーム調理室で開催しました。

はじめにモッツアレラチーズができる工程を学びました。説明の途中、生乳からホエイ(※)が取り除かれていく様子を見たり、ホエイを飲んだり、目、耳、舌を使いながら学んでいました。

チーズ作り体験では児童・保護者が協力してチーズの形を整え、塩味をつけて手作りチーズを仕上げていきましたが、特に子どもたちが積極的に取り組む姿が印象的でした。

今回も町内の酪農家の方に協力をいただき、材料として町産の生乳を使用することで、地元の食材の魅力を知ってもらい、また乳酸菌による「発酵の力」について楽しみながら体験することで、興味が深まった様子でした。



※ホエイ
牛乳から乳脂肪分やカゼインなどを取り除いた水溶液

いろいろ体験くらぶ

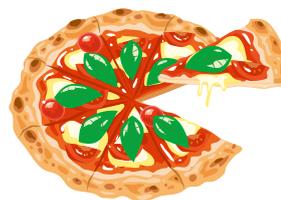
第4回「ピザをつくってみよう！」

8月18日にピザづくりを体験しました。町内でイタリアンレストランを営む橋本寿一さんにご指導いただき、本格的なピザづくりに挑戦しました。

まずは二つのグループに分かれピザ生地を1枚分に計量して丸めたり、薪窯の火起こしをしたり交互に体験をしました。

その後、ピザ生地を伸ばし、その上にトマトソースとチーズと収穫したてのバジルをトッピング。橋本さんと一緒に薪窯で焼き上げ、みごとな「マルゲリータピザ」ができました。

最後に橋本さんから子どもたちに「計量達人」「生地伸ばし名人」「火起こし名人」などと書かれた「修了証」が手渡されました。



楽しかった会津観光やフィールドワーク、 6年生の修学旅行！

7月10日からの2日間、6年生は会津若松方面に修学旅行に出かけました。

1日目は、鶴ヶ城、県立博物館、飯盛山で会津の歴史や文化を学び、2日目は班ごとによるフィールドワークを行い、市内で昼食をとったり、体験活動を行ったりしました。2日目の移動には周遊バスを利用するなど、事前の計画に基づきながら、友達同士で協力して活動することができました。

2日間、大きな天気の影響もなく、思い出に残る修学旅行となりました。



会津旅



親子ペアレントトレーニングを開催

7月1日に親子ペアレントトレーニングを開催しました。講師に福島県立医科大学看護学部の佐藤利憲先生をお迎えし、5年生児童、参加を希望した保護者を対象に行いました。

講話の中で、小学生が大人に相談することの大切さや、1人の大人に相談して終わりではなく3人の大人に相談することなどの話がありました。

その後の保護者へ向けた講話では、子どもをほめるタイミング、ほめ方にも“技”があることなど、具体的に教えていただきました。

普段、親子でゆっくり話をしたり聞けなかったりすることもあると思いますが、この日は穏やかな雰囲気の中、親子で相談したり関わったりすることの大切さについて、じっくり考える素敵な時間となりました。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



◇福島高専出前講座でプログラミング体験！

7月16日、3年生を対象とした福島工業高等専門学校による出前講座が開催されました。

生徒たちは3つのコースに分かれ、プログラミングのおもしろさを体験しました。

「^{マイクロビット}micro:bitでプログラミング」コースでは、小型コンピューター「micro:bit」を使って、基本的なプログラミングに挑戦しました。初めて触れるツールにとまどいながらも、試行錯誤を重ね、自分の指示でmicro:bitが動くことに歓声が上がっていました。

「プログラミングでドローンを飛ばそう」コースでは、プログラミングによってドローンを制御する体験が行われました。実際にドローンが意図したとおりに飛行すると、大きな達成感を感じているようでした。

「プログラミングでゲームをつくろう」コースでは、^{スクラッチ}Scratchなどのビジュアルプログラミング言語を使って、オリジナルのゲーム制作に挑戦しました。友達と協力しながら、アイデアを形にしていく過程を楽しんでいました。

どのコースでも、生徒たちは目を輝かせながら熱心に活動に取り組んでいました。座学だけでなく、実際に手を動かして、体験を通して学ぶことで、プログラミングへの興味・関心を深める貴重な機会となりました。今回の出前講座が、生徒たちの将来の進路選択の一助となれば幸いです。



◇小野町更生保護女性会による「朝のあいさつ運動」が行われました

7月15日午前7時から、小野町更生保護女性会の皆さんによる「朝のあいさつ運動」が本校で実施されました。

あいにくの雨模様でしたが、早朝から昇降口付近には元気なあいさつの声が響き渡りました。小・中学校共通のスローガンである「めざせ！あいさつ日本一の町 小野町」を胸に、生徒たちは清々しい表情であいさつを交わっていました。

本運動を通して、生徒たちのあいさつの意識がさらに高まることを期待しています。ご参加いただいた皆さん、誠にありがとうございました。

これからも地域全体で「あいさつ日本一の町」を目指していきましょう。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



あぶくま柏鵬高校体験入学

来年度開校する「あぶくま柏鵬高校」の中学生体験入学が7月29日㊤に船引高校で開催されました。本校と船引高校が統合し、県中地区唯一の総合学科の高等学校として、「君の『夢』を応援する オールインワン高校」をスローガンに、地区の中心となって活躍する人材を育成する学校を目指しています。小野高校の4つの系列と船引高校の3つのコースを改編し、2つの系列・4つの分野の中から自分の興味のある学びを深めることができます。本校生徒会長 吉田 希さんからは『まだ自分のやりたいことがわからず、将来に悩んでいる人こそ、あぶくま柏鵬高校に目を向け、「興味がある」から、「こんな仕事に就きたい」、「進学してもっと学びを深めたい」という思いにつなげられる学校です』という紹介がありました。



<小野高校に関するアンケートへのご協力のお願ひ>

現在、小野高校の生徒が、総合的な探究の時間において「小野高校の歴史を未来に継承するには」というテーマで課題研究に取り組んでいます。

そこで、小野高校の統合にあたって、小野町にお住まいの皆さんや本校の卒業生の皆さんが、どのような“想い”や“気持ち”をお持ちかを伺い、未来に伝える資料として活用させていただきたいと考えています。皆さんからのたくさんの“想い”や“気持ち”をお待ちしています。

◇回答締切 10月31日(金)

◇回答方法 二次元コードを読み取り、Googleフォームからご回答ください。

◇その他 アンケートはすべて匿名で行い、ご回答いただいた内容については、課題研究以外の目的には使用いたしません。

問い合わせ 小野高等学校 総合学科推進委員会 ☎72-3171

小野町にお住まいの方はこちらから



小野高校の卒業生の方はこちらから



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<https://ono-h.fcs.ed.jp>

おのまち認定こども園通信

○夏まつりを楽しみました

こども園で恒例の夏まつりが開催されました。この日は、子どもたちが浴衣や甚平に身を包み、朝からうれしそうな笑顔で登園していました。

廊下には、提灯やお面などの飾りが並び「おまつりだ!!」と喜ぶ声が響き、園全体がわくわくした雰囲気になっていました。遊戯室では盆踊りをはじめ、水ヨーヨー、輪投げ、紙飛行機飛ばし、お面屋さんなど、さまざまなコーナーが並び、お友達と一緒に楽しんでいました。

0歳から2歳児クラスの子どもたちは、年長さんに手を引いてもらいながら笑顔でコーナーを回り、それぞれのペースでおまつりの雰囲気を楽しんでいました。
にぎやかで、たくさん笑顔があふれ、夏の思い出がまたひとつ増えた一日となりました。



地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ

～友達を誘って遊びませんか～

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開催時間

午前10時から午後3時まで

実施内容

おのまち認定こども園では、0歳から就学前までのお子さんや保護者の皆さんの相談や交流の場として、園を開放しています。

(※こども園に在園していないお子さんも利用できます。)

電話で簡単に予約できますので、お気軽にお申し込みください。

料金

無料

予約先

おのまち認定こども園 ☎73-8321

実施内容

月日	事業名	内容	
10月	18日(土)	裏山での活動(10:00~11:30)	親子で裏山の階段を作ります。
	25日(土)	園庭開放(9:00~12:00)	親子で自由に遊べるように園庭を開放します。

（小野町児童館）「キラッと☆おの」からのお知らせ

～こども誰でも通園制度 お子さんの育ちを応援します～

こども誰でも通園制度って？

こども誰でも通園制度は、すべてのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整えるとともに、すべての子育て家庭に対して、さまざまな働き方やライフスタイルにかかわらずの支援を行う制度です。保護者の方の就労要件などを問わず、お子さんを幼児施設などに通わせることができます。

令和8年度から全国的にスタートする制度ですが、キラッと☆おのでは、10月から試行的な制度の運用を開始します。

【対象のお子さん】

- 0歳6カ月から満3歳未満のお子さん
- 認定こども園・保育園・幼稚園・小規模保育施設・企業主導型保育事業所などに在籍していないお子さん

【利用可能時間】

- お子さん1人につき、月10時間までの利用が可能です。
- 平日の午前9時から午前12時までの時間帯で、1時間単位の利用となります。

【利用料金】

- 1時間300円

【利用申し込みについて】

- 利用するには事前登録・面談が必要です。
- 利用方法など詳しくは、町公式ウェブサイトをご覧ください。

問 児童館キラッと☆おの ☎61-4431



○ 便利な機能がたくさん

「子育て応援アプリおののびby母子モ」配信中

町では、妊娠期から出産・子育て期をサポートするアプリ「子育て応援アプリおののびby母子モ」を配信中です。



便利な機能が
たくさんあるよ！



※アプリの主な機能※

■ **子育て情報配信**
妊娠・出産や子育てに関する町のお知らせやイベント情報、各種申請手続きなどを簡単に確認することができます。

■ **予防接種の管理**
お子さんの生年月日や接種履歴をもとに、接種できるワクチンと最適な接種間隔を自動で算出し、予定日が近づくと事前にお知らせが届きます。

■ **子どもの成長記録**
150種類の記念日を参考に、写真とコメント付きで記録ができ、日々のできごとを思い出として残すことができます。

■ **家族共有**
お子さんの成長記録を、遠く離れて住むご家族と共有することができます。

このほかにもさまざまな機能がたくさんあります。妊娠している方、すでに子育てをされている方、どなたでもご利用が可能です。お気軽にご利用ください。



母子モアプリ
アイコン



母子モ
QRコード

問 子育て支援課
7212212